

教会だより



二十六聖人

2023年6月号

No. 359 (2023年5月28日発行)

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296

<http://www.futamatagawa-cc.com/>

主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

巻頭言：^{てんしゅ}天主の^{せいどう}聖堂であり、^{すまい}住居であるイエスの^{みこころ}聖心

もう6月となり、今年も「イエスの聖心(みこころ)の月」を迎えました。6月がイエス様の聖心の月となっているのは、「イエスのみ心の祭日」が6月中にあるからです。この祭日は、キリストの聖なる御体と御血の神秘を祝う「キリストの聖体の祭日」の週間の金曜日ですが、この祭日がほとんど6月中にあるので、自然に6月が「イエスの聖心の月」となったわけです。この一ヶ月の間、教会は汚れなきイエス様の聖心を敬い、また、黙想することを勧めますが、それと共にイエス様の愛を实践することも大事だと思います。

イエス様の聖心に対する信心の根拠は、十字架に付けられたイエス様の脇腹を一人の兵士が槍で突き刺した出来事にあります。その時、イエス様の脇腹からは、水と血とが流れ出しましたが、その水は「イエス様の人性」を、また、血は「イエス様の神聖」を表します。イエス様はその人性を通して、罪の中で喘ぎさ迷っている人間に向かう神様の慈しみと憐れみの聖心を示し、その神性を通しては、罪のゆるしによる救いと永遠の命を示さ

れたわけです。その出来事からわたしたちは、その水はわたしたちを「洗礼の泉」に導き、その血は「御聖体の食卓」に招いてくれることが分かります。そして、イエス様は世の終わりまで、教会の洗礼の泉が乾くことのないようにし、その命の食卓が絶え間なく催されるようにしてくださいます。実に、わたしたちは皆、教会の洗礼の秘跡を通して清められ、赦しの秘跡を通してイエス様の命の食卓にふさわしい人となり、実際にその食卓に与っているわけです。その慈しみと憐れみ、また、愛に満ち溢れているイエス様の心を「み心」でなく、「聖なる心」という意味の「聖心」と言うのは、単なる言葉遊びのようではないでしょう。そして、その聖心にもっと近づいて敬い、その慈しみと憐れみと愛とを学ぶのは、信仰のあるわたしたちの当たり前前の務めだと思います。

その務めを果たすに役立つものとして、教会にはイエス様の聖心に関わる伝統的で特別な典礼があります。それはいわゆる「聖体賛美式(ベネディクション)」というのですが、韓国では「聖時間」とも言います。

それは、聖マリア・マルガリタに現れたイエス様の指示による典礼ですが、毎月第一木曜日の夜に行われるものです。その典礼が始まると、司祭は祭壇の上に太陽の光を表わす形の聖具（ラテン語でオステンソリウム、韓国語では聖光）を置き、その中にご聖体を安置します。それから、一時間ぐらい、色々な祈りなどを唱え、また、沈黙の中でそのご聖体を仰ぎ見ながら、イエス様の愛と慈しみを黙想します。そして、最後には「聖体祝福」をいただきます。その典礼の中でイエス様は、わたしたちの愛に渴いておられるイエス様の聖心にわたしたちを導き、また、様々な罪の中でもその重さに気づかず、儀式的で習慣的にご聖体をいただいたりするわたしたちを新たにしてくださいます。この三年間、新型コロナウイルスのために中止していましたが、その聖体賛美式が再開されたら、イエス様がわたしたちの心をご自分の聖心に一致させ、再び燃え上がらせてくださるよう、願っております。

さて、イエス様の聖心を様々な言葉で賛美しながら、その慈しみと憐れみを祈り求める「イエズスの聖心の連願」という祈りがあります。その中で、「天主の聖堂なるイエズス

の聖心」と「いと高き御者(おんもの)の住居(すまい)なるイエズスの聖心」という言葉があります。イエス様は御父である天主がいらっしゃるままにおられる聖堂であり、そのいと高き御者である天主の住居として来られました。つまり、イエス様ご自身は最初の教会、聖堂として来られ、そこで洗礼の泉と永遠の命の食卓を開いてくださったのです。だからこそ、教会は、イエス様ご自身のものとして、いつでも愛と慈しみと憐れみが満ち溢れるものとなるべきです。これからわたしたちも、まことの聖堂であるイエス様のような教会となれるよう、心を合わせて務めてまいりましょう。

ベネディクションの聖具



主任司祭 ヤコブ 姜 真求

2023年5月教会委員会報告（開催日：5月7日）

【検討事項】

1. バザー：今年10月のバザーに向けて6月に実行委員会を立ち上げます。ヨゼフ会、マリア会、青年会、インターファミリーをお願いして5月中に実行委員を推薦していただくことにしました。皆様お忙しいとは思いますがぜひ積極的に協力してください。
2. ミサ後の清掃：主日10時ミサ後の清掃を各地区をお願いしていますが、将来的には清掃の準備と片付けについても当番地区で行っていただく予定です。準備・片付けの詳細内容は追ってご連絡します。

【信徒意見への対応】

皆様から頂いたご意見に対する討議結果をご報告します。

1. 意見「ミサのときできるだけ銅鑼を使わないでほしい」

討議結果：現在ミサで使用している鉢状の小鐘（通称「ゴン」）についてのご意見です。カンパネラ（手で振って鳴らす鈴）は綺麗に鳴らし続けるのが難しいので、子供や不慣れた大人でも扱いやすいゴンを使っています。ご理解のほどお願いします。

2. 意見「第三地区三部門の委員を更新してほしい」

討議結果：この委員は司教教書で示された、祈り、信仰を伝え、神の愛を証する共同体作りのための委員です。当教会に16名いますが、2020年以降更新されていません。いったん仕切り直すので全委員とも任期満了とします。委員を務められた方々に感謝します。

3. 意見「当教会を訪れる方が持ち帰れる教会紹介の小冊子がほしい」

討議結果：内容は既に決まりました。現在、印刷に回すところです。なお、この小冊子は他所から当教会を訪れる方のためのものなので、所属信徒には特に配布しません。

【報告事項】

1. 事務所

5月10日に消防署による査察があります。当教会を利用する外部団体から草むしりボランティアの申し出があり6月に実施する予定です。

2. 典礼委員会

①「二十六聖人」4月号で香部屋係の公募はしないとお知らせしましたが、諸般の事情で公募することに変更しました。

②5月28日聖霊降臨の主日から聖歌集を使用し、また、ミサ中の献金を再開する予定です。

3. 教会学校

①教会学校の生徒数（5月7日現在）は次のとおりです。

クラス	名簿上の人数	毎回出席数
幼児	14	8~10
小学生	13	2~3
中学生	6	1~2
高校生	11	1~2

②教会学校の日は第一、第三日曜日です。5週ある月や連休と重なるときも同じです。

③堅信準備の勉強会、子供達のミサ奉仕（奉納や朗読）を検討しています。

4. キリスト教講座

①新信徒の集いを、5月28日（日）10時ミサ後に行います。

②待降節黙想会を12月2日（土）午後に予定しています。指導司祭は上杉優太神父様（雪ノ下教会）です。

③堅信式を12月3日（日）に予定しています。堅信講座は9月～11月に中高大学生と大人の2グループで実施します。

5. 一粒会

ベトナムで8月に司祭叙階されるタン・ホアン・フィー助祭に霊的花束を贈る準備を実施中です。

6. 財務委員会

月定献金推進キャンペーンを準備中です。

7. 広報委員会

「二十六聖人」の配布方法を直接手渡しに変えました。多くの方に受け取ってもらえるように検討を続けます。

8. 福祉委員会

支援中の福祉団体に、ミサ後のお知らせの時間に活動報告をしてもらうように打診しています。準備できしだい実施します。

9. 建物管理委員会

エレベータ改修工事を5月15-19日の9:00-17:30に行います。

10. 共同墓地委員会

5月20日10時から上大岡共同墓地で「春の墓参」をおこないます。雨天決行。

11. ヨゼフ会

5月21日に例会の予定です。コーヒー光を4月に二回実施、5月も二回の予定です。

12. マリア会

①パーティー係が厨房を掃除して食器1,477点を洗いました。5月20日にも行います。

②ボリビア支援グループが4月9日、23日にジャムの対面販売をしました。

13. 青年会

①4月30日に新青年3名を迎えて新入生歓迎会をしました。

②5月28日の聖霊降臨の主日に向けて、カードを作成する予定です。

③高校生・青年が9月16-18日に韓国を訪問して韓国青年と分かち合う予定です。

④7月9日に当教会で恒例の「わかちあいたいかい」を行います。

14. インターファミリー

①4月30日にランチ交流会を行いました。

②5月28日ミサ後にアルペ難民センターのボランティアを招いて交流する予定です。

15. 第三地区委員会

4月30日に第三地区共同宣教司牧委員会を行いました。当教会から信徒の居場所情報の共有を提案しました。

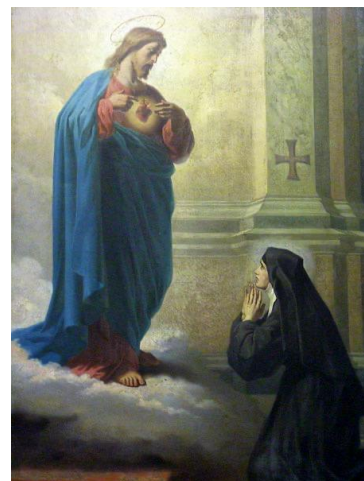
以上

イエスのみ心の祭日について

巻頭言にもありますように、6月16日（金）は「イエスのみ心の祭日」です。イエスのみ心の信心は、聖女マルガリタ・マリア・アラコックにイエス・キリストがご出現になり、『罪の償いのために9ヶ月間続けて毎月最初の金曜日にミサに与り、聖体拝領すれば罪の中に死ぬことはなく、イエスのみ心に受け入れられるであろう。』とお約束なされたことに由来します。

カトリック教会では17世紀からこの「初金曜日」の信心をしています。また、主はマルガリタにイエスのみ心の祭日制定を獲得するという使命を授けられました。

マルガリタ・マリア・アラコック（1647～1690）は、フランス・ブルゴーニュ州に生まれ、24歳の時、訪問会修道会に入りました。イエスのみ心の信心は、初めは多くの反対にあいましたが次第に広まり、彼女の死後、この信心は全世界に広がって、1856年、教皇ピオ9世によって「イエスのみ心の祭日」をご聖体の祭日後の金曜日に全世界で祝うことが定められました。そして、1920年、マルガリタは列聖されました。



イエスのみ心の限りない愛に対して、できる限りの愛をもってこたえるというみ心の信心の目的をしっかりと持ち、イエス様の愛の実践を大切にしながら、この6月を過ごしていきたいものです。



日本二十六聖人殉教者への祈り

皆で祈りましょう！

日本二十六聖人殉教者よ

あなたがたは京都から長崎までの十字架の道を歩み
キリストのためにいのちをささげました。

わたしたちがあなたがたにならい

勇気をもって信仰の証しを立てることができるよう導いてください。

わたしたちがどんな試みにあっても

終わりまで耐え忍ぶことができるように力づけてください。

わたしたちがキリストの栄えを求め

救いのために働くことができるように取り次いでください。アーメン

☆日本二十六聖人殉教者の列聖日は1862年6月8日でした。列聖とは、カトリック教会においては徳と聖性が認められた福者が聖人の地位にあげられることです。現在、月1回の教会委員会の最後に、神父様と委員会のメンバーでこのお祈りを捧げています。

覚えていますか？復活します！

わかちあいたいかい

7月9日(日) 10時ミサ後

第10回となる「わかちあいたいかい」を企画しはじめたのは、2020年の2月でした。すぐにコロナ禍となり3年。ついに「わかちあいたいかい」を復活させたいと思います！10数年前、青年会が一粒会の力を借りて、毎年恒例の「わかちあいたいかい」をはじめた時から、大きな趣旨は変わっていません。コロナ禍を過ごした今の私たちには、もっと必要で大切な時間かもしれません。

毎週(たまにでも)、ごミサに集まる私たち。いつも100人以上もの方々と、神さまのもとに集められている。毎週会う人、昔から知っている人、初めての人。おじいさん、おばあさん。おじさん、おばさん。お兄さん、お姉さん。外国人。子ども達、友達。

神さま、こんなにたくさんの出会いをありがとう!!

当たり前みたいになっているけれど、こんなにたくさんの出会いをいただいている。それなのに名前を知って挨拶したり、わかちあったりしなくちゃもったいないじゃない?? こんな想いから、「わかちあいたいかい」を考えました。

平仮名のイベント名には、「皆でわかちあいたいかい?」という問いかけ。そして、「わかちあいたいかい」という発信と希望。更に、「わかちあい大会!!」という小教区全体の大きなイベントという3つのメッセージが込められています。

朝から挨拶が飛び交う雰囲気。ごミサでは共に祈りを捧げ、平和の挨拶がもっと親身なものになる。そして派遣される私たち。そこから共同体を育む、新しいアイデアや協力が生まれてくるものだと思うのです。**皆さん、一緒にわかちあいたいかい??**

★参加対象者：二俣川教会に集う
18歳以上の皆さん全員

★「わかちあい」は5名前後のグループで行います。10時ミサの後にグループ分けをします。

★今年のテーマや詳細は、後日お知らせ致します。まずはご予約を空けておいてください!

右左、前後ろ。
おはようございます!!
こんなにたくさんの仲間たち。
神さま、ありがとう。
ここに集められた私たち、
想いをわかちあい、
この輪を広げていくことが
できますように。



二俣川教会 ニュース

◆売店再開！

4月中旬より、売店が再開されました。コロナが流行しはじめてから3年以上閉店していた売店が再開され、なかなか手にすることが出来なかった聖品やカード、修道会のお菓子などを買求める賑やかな様子がみられます。販売時間：主日10時ミサの後 主な取り扱い品：聖書・典礼に関する書籍(絵本などは扱いません)、十字架、御像、御絵やカード、修道会のクッキーなど



◆聖霊降臨カードのこと🕊️

聖霊降臨の祭日、おめでとうございます。教会のお誕生日…ハッピーバースデー教会！！今年も青年たちの協力で"聖霊降臨カード"を作ることができました。聖霊降臨のごミサの時に配布しました。手作りの聖霊降臨カード作りも今年で5年目。毎年様々なデザインのカードの裏に青年たちが"聖霊の7つの賜物"とその説明文を書いてくれました。

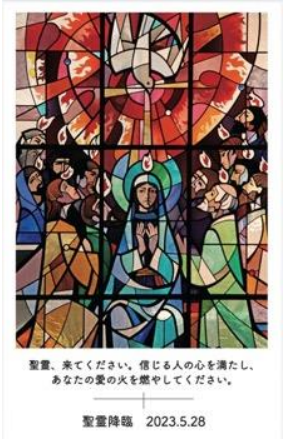
◆2階図書コーナー

『二俣川教会の思い出コーナー』設置

献堂50周年の折に集めた写真等を整理しました。アルバムの持ち出しはできませんが、自由にご覧になれます。是非、二俣川教会の歩みをご覧になってください。

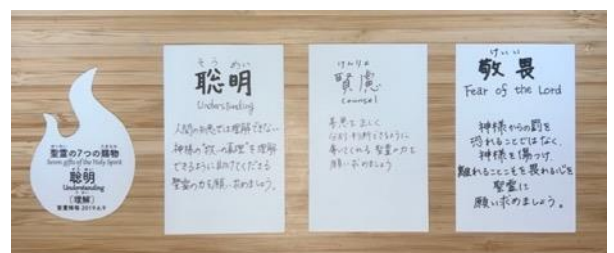


『これはただの記念品やお守りではありません。皆がそれぞれ手に入れた聖霊の賜物を祈り求め、その意味を悟り、また、互いにその賜物を実際の行動を通して分かち合うことが大事なことです』



(2020年聖霊降臨の主日
姜神父様のお説教より抜粋)

これまでのカード (左から2019年→2022年) ↓



今から 18 年前の 2005 年、マリア会の新年会に、ボリビアからイエスのカリタス修道女会のシスター秋永が訪問され、ボリビアのコチャバンバ子供支援センターについてお話をいただきました。貧しさのせいで働く親のために、シスターたちが子どもたちを預かって世話をしていますが、どこからの援助も無く大変困窮しているという現状を知りました。私たちはマリア会の活動としてこの子どもたちを支援しようと、当時の主任司祭であるジャック神父様の許可をいただき、新たに子どもたちを支援する活動グループ、「ボリビア支援グループ」を発足させました。

支援金を得るために、月に一度「のんびり日曜日」と言う小さなマーケットで、サンドイッチやおにぎり、手作りのジャムやお菓子を販売し、時には、ボリビアの民芸品やシスターの CD も販売し、信徒の皆様にとくさんご協力をいただきました。「のんびり日曜日」で販売しておりますこのマーマレードは、一信徒の方から庭に実る夏みかんをご寄付頂いたのがきっかけですが、皆様からご好評を頂き、その後、色々な種類のジャムも販売して参りました。このおかげで、毎年シスターに支援金をお送りすることが出来、心から感謝しています。

私たちが目指したかったのは、支援の一方通行ではなく、私たちとコチャバンバ子供支援センターとの双方の交流です。そのための企画として、献金を直接シスターに手渡し、シスターからは現地の様子を伝えて頂く「ボリビアデー」の開催を企画しました。その折りには、イエスのカリタス修道女会のシスターたちがお礼にコーラスを歌いに来て下さったり、感謝のランチを提供したりしながら、双方の交流を楽しみました。また、「アンナ会」や「ゆりの会」からも継続して献金を頂くことが出来、時には、コツコツ貯めた献金を子どもたちにと届けてくださる方もいらして、祈りと支援の輪が広がっていることに心から感謝しています。残念ながら、「ボリビアデー」はコロナ禍で途切れてしまっていますが、再び復活できる日が来ることを願っています。



尚、現在私たちは、コチャバンバ子供支援センターが政府の命により閉園を余儀なくされたため、支援先を「オガールファティマ乳児院」に移し、子どもたちへの支援活動を継続しています。歴代の神父様たち、そして共同体の皆様のお陰で 18 年目を迎えたボリビア支援活動。これからもボリビアの子どもたちのために、お祈りとご協力をよろしくお願いいたします。

さらに、お願いがあります。私たちと一緒にこの活動をやってみませんか？現在月 2 回行っている「のんびり日曜日」だけでなく、当日の準備や販売に必要な袋の提供など、どんな形でも子どもたちのために奉仕は出来ます。皆さんの小さな行動と奉仕が、遠いボリビアの子どもたちの笑顔に繋がっています。そして、それはいつでも始められます。「のんびり日曜日」の時、私たちに声をかけてくださいね。どうぞよろしくお願いいたします。



ナン神学生にナンでも聞いてみよう！



vol.2

ナン神学生： **ナ** インタビュアー： **イ**

イ 質問③です。ナン神学生が、修道士を志したきっかけは何ですか？

ナ そうですね。前回お話ししたように。私は信仰の宣教修道会の修道士です。今年3月4日に、終生誓願宣立の恵みを頂きました。この修道士になろうと思ったのは12年前です。私は高校卒業後、2009年6月に大学の勉強のためにベトナムの南の方に移りました。私と同じ出身教会の神父様が主任を勤めていた教会に滞在させて頂きました。大学に通いながら教会の活動に参加していました（今、二俣川教会にいる間とだいたい同じかたちだと思います）。この教会は信仰の宣教修道会にゆだねられたので、宣教司牧のために来られる司祭・修道士が多くいらっしゃいました。そのため、私が修道士の方々とかわる機会が多くよく話しあっていました。2011年度の修道会の入学試験の前のある日、主任神父様が「君ね、教区司祭と修道会司祭のどっちになりたいの？」と聞かれて、私がまだ答えを考えているうちに続けて言われました。「もし修道会司祭になりたいのだったら、うちの修道会を受験してみたら、そろそろ卒業するからさ、次の道を決めなきゃ。」その後、よく考えた上で、入試を受けることを決めました。決めた時には勿論、教区司祭と修道会司祭の違いがよく分かっていなかったし、信仰の宣教修道会のことよく知らなかったです。ただ、この修道会のいろいろなメンバーと出会って親しくなっているから、とりあえず入ってみようという気持ちでした。質問に戻りますと、私が修道士を志したきっかけは修道士の方々と関わりがあって、宣教修道会に仲間がいるから、一緒に歩いていきたかったというきっかけです。

イ 質問④ ナン神学生は、ベトナムのどちらの出身ですか？故郷の魅力を教えてください。

ナ 私の出身地は北ベトナムにある Kê Riền(ケリエン)という村、現在は xã Minh Hoà(ミンホア)という名前になっています。ちなみに出身教会は Thai Binh (タイビン)司教区の Duyen Lang (ズイエンラン)教会です。村は静かな田んぼに囲まれているところで、多くの人々が農業で生活しています。故郷の魅力と言ったら、私にとって一番誇りを思っただけに伝えたいのは、私の生まれた村は長い歴史のある宣教地だということです。約400年前に、福音の種が初めてこの地に蒔かれたそうです。そして、ここはベトナムの一人の聖なる殉教者、聖フランシスザビエル・HA TRONG MAU (ハトロンマウ)の出身地であり、もう一人のベトナムの聖なる殉教者、聖ドミニコ・DINH DUC MAU (ディンドゥックマウ)が捕えられたところでもあるのです。ですから、この村は殉教地とも呼ばれています。皆様、もし機会がありましたら、是非いらっしやってください。ご案内致します。



←赤い印の辺りが、故郷の村です。ベトナムの首都ハノイから少し南に位置します。

出身教会の内陣と外観→



【編集後記】 復活節第2主日から、長かった主日ミサの地区割りが終わわり、自由に参加できるごミサとなりました。聖体奉仕の役割の日、祭壇から聖堂全体を見ることができました。たくさんの信者の皆さん、互いの距離もグッと近い様子。とても胸が熱くなりました。神様に感謝！心の距離も、もっと、グッと近づけて2023年後半も過ごせたらと思います。(Y. O. 記)